

第1回人吉球磨定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

- 開催日時 令和5年10月11日(水)午後3時～
- 開催場所 人吉市役所2階 201・202大会議室
- 出席者 ビジョン懇談会委員16名/24名中の出席

No		団体名(所属)	役職名	氏名 (フリガナ)	
1	人吉市	熊本県立大学総合管理学部	教授	井田 貴志	出席
2		人吉市医師会	監事	岐部 明廣	出席
3		人吉温泉観光協会	副代表理事	川野 精一	出席
4		球磨焼酎酒造組合	副理事長	堤 純子	欠席
5		人吉商工会議所	専務理事	今村 修	出席
6		くま川鉄道株式会社	取締役社長	永江 友二	出席
7	錦町	球磨地域農業協同組合	理事 (営農購買専門委員)	久保田 徳男	出席
8		錦町農業委員会	農業委員	尾方 安枝子	欠席
9	多良木町	球磨郡公立多良木病院企業団	事務長	黒木 政裕	出席
10		多良木町文化協会	会長	竹原 篤子	出席
11	湯前町	湯前町区長会	会長	中武 義秋	出席
12		湯前町文化財保護委員会	委員長	溝下 昌美	出席
13	水上村	水上村立保育所	所長	椎葉 由美	出席
14		水上村社会福祉協議会	福祉活動専門員	中原 奈々	欠席
15	相良村	相良村商工会	青年部長	牧野 耕文	欠席
16		相良村有害鳥獣捕獲隊	隊長	岩田 明博	欠席
17	五木村	(株)子守唄の里五木	駅長	井元 淳	欠席
18		五木村観光情報センター	センター長	仮山 常雄	出席
19	山江村	NPO法人かちやリンクやまえ	専務理事	本山 民子	出席
20		山江村民生委員児童委員協議会	会長	谷川 安照	欠席
21	球磨村	球磨村森林組合	参事	犬童 大輔	欠席
22		球磨村教育委員会	教育委員	中井 久美	出席
23	あさぎり町	あさぎり町婦人会		嘉村 淳子	出席
24		あさぎり町農業女性の会	会長	永井 友美	出席

【幹事会】

市町村名	課名	職名	氏名
錦町	企画観光課	課長	岩尾 和文
多良木町	総務課	課長	岡本 雅博
湯前町	企画観光課	課長	伊藤 賢一郎
水上村	総務課	課長	田代 浩章
相良村	総務課	課長	川邊 俊二
五木村	総務課	課長 (係長)	竹村 文秀 (代理出席:桑田 江美)
山江村	総務課	課長 (主幹)	平山 辰也 (代理出席:白川 満)
球磨村	復興推進課	課長	友尻 陽介
あさぎり町	企画政策課	課長	荒川 誠一

欠席

【オブザーバー】

熊本県南広域本部 球磨地域振興局	総務振興課	課長	齋藤 信一郎
---------------------	-------	----	--------

【部会事務局】

部会名	検討母体	事務局 市町村	担当課	役職	氏名
救急医療部会	(球磨圏域保健衛生協議会でまとめている)	錦町	健康増進課	保健師長	鶴嶋 由加
発達相談部会	球磨圏域乳幼児発達相談事業運営協議会	錦町	健康増進課	保健師	栗原 香織
障がい者(児)部会	人吉球磨障がい者総合支援協議会	人吉市	福祉課	係長	塩谷 達郎
文化部会	球磨地域文化財広域連携協議会	人吉市	文化課	課長補佐 (兼係長)	嶋田 敏朗
観光部会	市町村企画・観光担当者会議	人吉市	商工観光課	係長	松島 泰代
農業部会	くま農業活性化協議会	あさぎり町	農林振興課	課長補佐	田口 宏幸
林業部会		人吉市	農林整備課	課長補佐 (兼係長)	高田 尚志
しごと創生部会	人吉・球磨しごと創生連絡協議会	あさぎり町	商工観光課	参事	岩本 祐一郎
鳥獣害対策部会	球磨地方公有林経営協議会	山江村	産業振興課	主査	立道 和高
消費生活部会	人吉球磨生活支援ネットワーク	人吉市	地域コミュニティ課 (消費生活センター)	課長補佐 (兼係長)	舟戸 章吾
地域公共交通部会	人吉球磨地域公共交通担当課長会	人吉市	復興支援課	課長補佐 (兼係長)	白坂 禎敏
人材育成部会	人吉球磨総務担当課長会	人吉市	総務課	課長	那須 裕史

【事務局】

人吉球磨定住自立圏推進協議会事務局	人吉市	復興政策部	部長	浦本 雄介
		復興政策部	政策統括監	井福 浩二
		復興政策部 復興支援課	課長	竹内 常泰
			係長	古賀 靖章
			主任	源島 梢
			主任 【担当】	山本 和也

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付（新任委員）
- 3 市長挨拶
- 4 出席者紹介
- 5 会長及び副会長選任
今村委員からの推薦で、井田委員が会長、竹原委員が副会長に再任。
- 6 会長挨拶
- 7 議事（1）人吉球磨定住自立圏共生ビジョン概要について
（2）第2次共生ビジョンの進捗状況について
（3）ビジョン改定内容について
- 8 その他
- 9 閉会

■ 議事内容

事務局	議事（1）人吉球磨定住自立圏共生ビジョン概要について 資料1に基づき事務局説明 ・定住自立圏構想の概要 ・本圏域の定住自立圏形成とこれまでの経緯
各委員	（意見なし）
事務局	議事（2）第2次共生ビジョンの進捗状況について 資料2・資料3に基づき部会事務局から説明 【救急医療部会】 少子高齢化が進む圏域での産科の医師不足は特に深刻なため、今年1月に産科医師を確保するための協議会が設立。構成メンバーとして、圏域以外にえびの市や伊佐市を加え、今年度は県知事や大学病院への要望書の提出している。
発達相談部会	令和4年は月1回発達外来を医療センターに開設し、熊本市から専門職である小児科部児童精神科の先生をお呼びして、事業を実施している。
障がい者（児）部会	障がい者（児）地域生活支援拠点整備事業については、KPIを緊急対応ケース数から拠点登録事業所数に変更している。こちらの事業につきましては、事前に対象者を把握登録し、見守り体制を築くことで、緊急対応にならないようにすることが大きな目的。件数が増えることが、成果というわけではないので、今回改めた。 拠点登録事業所は、人吉球磨に点在する障害福祉に関するサービスを提供する事業所を指しており、地域全体で連携を図り、支援する整備手法をしている。 また、基幹相談支援センターなるものを検討しており、地域の中核となる相談支援

	<p>センターになるが、人吉球磨で1ヶ所整備するという構想のもと、検討を重ねている。令和8年度に設置を目指しているが、今後は、その設置費用等を計上していく予定。</p>
文化部会	<p>KPIの歴史文化遺産の保全件数44件には、災害復旧20件も含まれている。令和7年度ぐらいには、災害復旧が完了する見込み。災害復旧以外の保全件数は、24件となっており、成果指標を達成している状況。</p>
観光部会	<p>成果指標につきましては、宿泊者観光消費額となっており、令和4年で57億4800万円、目標調査発生している。こちらの消費額の算出は、観光宿泊者を対象としたアンケートにより算出している。</p> <p>サイクルイベントの各参加者数は、令和4年度から成果指標として取り入れているが、コロナ禍の影響もあり、少なくなっている状況。</p>
農業部会	<p>水稻栽培等の算出額は、米の消費量の減少や価格の下落に伴い、WCS等の飼料稲への転換が減少の要因となっている。</p> <p>葉たばこ生産は、労働後継者不足と高齢化に伴い、廃業もしくは作付転換して、生産者の数が減ってきて、達成が難しくなっている。</p>
林業部会	<p>令和3年度は、木材価格が高騰したため、令和3年度が突出して、金額が高く、出荷数が多くなっている。対して、令和4年度は、少し落ち着いてきているが、目標値は達成した。</p>
しごと創生部会	<p>誘致・立地企業数3社の内訳は、IT関連企業が2社、研究開発企業が1社。今後は、立地協定を結んでいる企業等があるため、最終年度には、目標達成する見込み。しかし、立地したものの雇用が確保できない、雇用確保できずに撤退したケースもある。今後は、社会情勢に沿った取り組みを実施していきたい。</p> <p>先進自治体の研修は、官民連携事業の推進を図るための準備をやりたいと考えており、地域人材活用・地場産業等との連携などを最大限活用するために、地域に新たな産業を創出する取り組みについて調査研修を行いたい。</p>
鳥獣害対策部会	<p>圏域で食肉加工場等の処分場が5つあり、今年11月に民間の方で国の補助事業を活用され、新たに設置予定となっている。</p>

消費生活 部会	<p>成果指標にある被害回復率は、消費生活センターに相談して取り返した金額を被害にあった金額で割った数字となる。</p> <p>学校での授業支援は、工業高校と南陵高校の3年生を対象に生活相談員による出前講座を実施している。</p>
地域公共 交通部会	<p>くま川鉄道については、令和7年度の全線開通に向けて復旧事業を進めており、その時点では若干の利用増は見込めると思うが、目標の期間は6年度までのため、達成は難しい状況。</p>
人材育成 部会	<p>合同研修については、コロナ禍や豪雨災害の影響により、実施できていない。</p> <p>外部専門的人材等活用事業は、経費を相互に活用するというのが理想だが、いろんな制約あり、市町村単独の取り組みとなっている。</p>
事務局	<p>議事（3）ビジョン改定内容について</p> <p>資料4に記載してあるとおり。</p> <p>ビジョン改定は、本日のビジョン懇談会において、ビジョン改定を承認いただければ、11月7日開催予定の首長様達で構成する、推進協議会にお諮りし正式に改定となります。</p>
	<p>議事（2）第2次共生ビジョンの進捗状況について及び</p> <p>議事（3）ビジョン改定内容について に対する委員質疑</p>
岐部委員	<p>救急医療体制の輪番制について。実際の運用は一般的に言う輪番制になっていないと思う。自分たちが重症患者さんを送る場合は、100%人吉医療センターにしている。球磨郡の病院は、公立多良木病院に送るかもしれないが。輪番ではなく、毎回、人吉医療センターで受け入れているので、誤解がないように文言を変えてはどうか。</p> <p>目標の実施率100%というのも意味がないのでは。実施機関2件って書いた方がいいと思う。</p>
救急医療 部会	<p>この件に関しては、圏域の医療部会で検討する。</p>
岐部委員	<p>特別交付税は、毎年か。</p>
事務局	<p>毎年の上限までは、財政措置がある。</p>
竹原委員	<p>文化財保護活用事業について、湯前町の事業費が大きいのはどういうことか。また、自治体によって内容が異なるのか。</p>

文化部会	事業費の内容については、市町村で異なる。湯前町の事業内容については、確認しないとわからない。
竹原委員	文化協会で、33観音めぐりをした際にあさぎり町の秋時観音に行った。階段が72段あるが、滑って転ばれて、肋骨を折ってしまった。そういう場合は、この事業の対象となるのか。
文化部会	人吉市の例になるが、そのような場合は、個人の保険やツアーの保険で対応していただくことになる。その施設の不具合によって、怪我などされた場合は、施設を管理しているところが対応することになると思う。 また、改修等については、文化財の改修の補助等があるので、そういったものを活用して改修していくことになる。
熊本県	サイクルツーリズム推進事業のKPIである、自転車ネットワーク整備延長があるが、実績が目標値に対して非常に小さい。県で整備しているものだと思うが、45キロという数字は、どの部分のことか。
観光部会	確かに県の整備計画から引用している数字になる。この実績の数字は、振興局の土木部に確認していただいている。
熊本県	実績があまりにも少ないので気になった。県に確認されているが、どこのコースの数字を確認しているか、正確に伝わっていない可能性があるので、再度確認をお願いしたい。
観光部会	再度確認する。
井田会長	サイクリングロードについては、どこの部分が対象となっていて、どのくらい実績があるのか、できれば地図で示していただきたい。ビジョン懇談会のときだけでいいので。
岐部委員	事業費は、特別交付税だけでは、全然足りない事業もある。全体事業費のうち、定住自立圏の特別交付税が何割ぐらいか示してもらおうと深く審議ができると思う。
事務局	個別の交付金等も活用している事業もある。割合は事務局では把握していないところだが、提示できるかどうかも含めて検討する。
井田会長	事業費の内訳は、精査すると把握できると思うが、非常に手間がかかるため、第3次ビジョン以降の検討課題としていただきたい。
仮山委員	自治体の観光部門は、イベント屋になっている気がする。イベント以外で地域づくりについての事業があれば教えていただきたい。
観光部会	人吉球磨の城下町というブランドの認知向上で、商品開発のための補助事業や、着地型の旅行商品の開発、インバウンドの体制づくり。またSNSやホームページを使ったプロモーションやデータの整備をしている。

仮山委員	商品開発の結果等の情報を共有してほしい。
観光部会	人吉球磨観光地域づくり協議会と連携しながら、情報発信に努めたい。
永江委員	日本でもっとも豊かな隠れ里ということで、人吉球磨地域一体となって日本遺産の取り組みをやってきたと思っているが、その記載が全くないのは、やらないということか。
文化部会	取り組み内容に教育と観光と連携して、事業をすると記載している。
永江委員	連携するというのが、観光の方に何も入ってない。連携を密にさせていただき、地域の宝である文化財をぜひ観光にも活用してほしい。
井田会長	文化財の保護と活用は、全く別物。保護は、文化部会でいいが、利活用して稼ぐためには、観光が持たないとダメ。熊本県全体がそうだが、組織ができていない。稼げる資源があるんだから、商工観光部門がやらないと意味がない。山鹿あたりは、そういう風になってきているので、ぜひ人吉球磨も取り組んでいただきたい。
仮山委員	五木村だけで人を呼ぼうとすると観光資源が少なく難しいので、地域で観光コースを作って、地域全体でプロモーションをしてほしい。
観光部会	着地型旅行商品の開発というのは人吉球磨観光地域づくり協議会で進めている。ただ、セールスできていない状況。今年度、取り組みを進めたいきたい。
井田会長	部会は KPI や PDCA サイクルを理解していない。取組内容が前回とほとんど一緒になっている。KPI に対する実績を分析して、次年度どういう対策をするか、計画すべき。 今回は、色々な外的要因があったので言わないが、来年度は最終年度になるので、きちんとした取り組み計画を示してほしい。それをもとに3次ビジョンの検討に入るかもしれないので、K P I を部会がどう評価したのか、何が足らなかったのか、それを次年度の取り組みに具体的に書いてほしい。主要な取り組みは、少なくともよい。ここを軸に取り組むことによって経済向上を目指す。そうしないと、いつまでたっても人吉球磨地域は、何やってんと思われる。各部会の方、ご多忙というのは承知しているが、次年度は、きちんと評価して、成果報告や改善計画を示していただきたい。その他質問がなければ、全ての議事について協議を終了する。